

8月



のんびりてくてく

お散歩してみませんか

8
月号

2026年7月31日発行

発行者: (一財) 古河市地域振興公社

古河公方公園(古河総合公園)

〒306-0041茨城県古河市鴻巣399-1

☎0280-47-1129

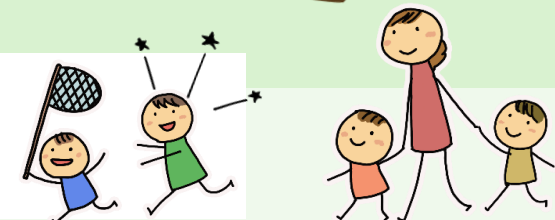
* てくてく情報は HP からダウンロードできます♪

葉月 | はづき

「葉月」は、葉が落ちる「葉落ち月」が語源とされ、秋の訪れを感じさせる言葉です。

てくてく情報

1 夏空に映える元気な花たち★



今の時期公園では、サルスベリ (①) とノウゼンカズラ (②) が楽しめます♪



①サルスベリ

サルスベリは初夏から秋にかけて、長く花を楽しめる落葉樹です。枝先にはたくさんの小さな花が房状に集まって咲き、鮮やかに木を彩ります。一つひとつの花は縮れたような花びらをもち、虫を引き寄せる色鮮やかな飾り雄しべと、虫に花粉をつける

雄しべの2種類があります。花が終わりを迎える晩夏から初秋には、縮れた花びらが風に舞う様子も見どころの一つです。



②ノウゼンカズラ

ノウゼンカズラは鮮やかなオレンジや赤の花を咲かせるつる性の植物です。長く伸びた枝先には、基部が筒状で先端が5つに裂けるラッパ形の花が次々と咲

きます。大きな花は夏の日差しによく映え、南国を思わせるような華やかさがあります。

2

メタリックカラーがかっこいい！キラキラかがやく夏の虫たち♪



③タマムシ

鮮やかな色は色素ではなく光の反射によるもの。成虫はエノキの葉などを食べて生活し、木を食べる幼虫は枯れ木の分解を助け、森の循環を支えている。



④コガネムシ

金属のように輝く体色を黄金（こがね）に例えたことが名前の由来。成虫は主に葉や花弁を食べ、葉脈を残して網目状にする「レース状食害」が特徴。



⑤チョウトンボ

チョウのようにひらりと舞う飛び方が名前の由来。池や沼の周辺に生息し、水面に腹部を打ちつける「打水産卵」という方法で産卵をする。

園内マップ

3

夏の公園おすすめ休けいスポット♪



暑い日の散歩は、水分補給とこまめな休憩を♪



⑥遊具広場のベンチ

木陰の中の遊具広場。テーブル付きやブランコ前のベンチでひと休み。



⑦こぶし野展望デッキ

広めのベンチに腰を下ろしたり、ごろんと横になったり、日陰でのんびり。



⑧元屋敷の四阿

園内にある3カ所の四阿でひと休み。風通しのよい元屋敷の四阿がおすすめ。



⑨管理棟休憩室

9時～17時まで利用可能。冷房の効いた室内で、ゆっくりひと涼み。



Instagram アカウント



Xアカウント